

分析テーマ		福祉・医療： 2) 福祉・医療へのアクセス検討
分析内容		高齢者、障害者、子どもが福祉・医療施設へアクセスする際の交通計画の検討
分析事例	現状での	PTデータによる分析事例あり
	行政サイド 事業者 サイド	ほとんどなし
分析方法		<p>検討方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 想定されるテーマ例としては、公共施設立地計画、福祉政策等が考えられる。公共施設の新規立地にPTデータによる交通計画がなされている例はほとんどなく、立地も用地確保等により決まる場合が多いため、既存施設のアクセシビリティを高める計画検討のための分析例を示す。 <p>分析フロー（例）</p> <pre> graph TD A[PTデータ] --> B[福祉・医療施設の利用状況 ・属性(性・年齢) ・居住地、交通手段 等] C[その他データ・資料] --> D[各地区からのアクセシビリティ水準 ・所要時間、料金抵抗 ・道路サービス水準] B --> E[アクセシビリティを改善すべき事項 ・属性(性・年齢) ・方向、地区] D --> E F[医療・福祉関連の資料 ・交通弱者の要望 ・自治体の計画 等] --> E E --> G[公共施設へのアクセシビリティ改善 に関する検討] </pre>
必要データ		PTデータ（福祉・医療施設発着トリップ数（性別、年齢別、ゾーン別、交通手段別、駅別）） 関連データ（所要時間、料金抵抗道路サービス水準（道路混雑状況 等）） 関連資料（交通弱者の要望、自治体の計画 等）
留意事項 方向性 等		
参考資料		-

(活用事例)

検討事項	交通安全・医療福祉面からの交通計画
検討地域	長岡都市圏
検討調査名	平成13年度長岡都市圏新都市OD調査
検討主体	新潟県他
背景・目的	将来時点において、緊急車両、通勤車両が多く走行することが想定される重要路線を抽出する。
検討方法	<p>緊急車交通</p> <p>1) 自動車OD表 主要病院の緊急搬送数と、各消防署消防統計、本調査の補足調査で行った緊急車経路調査の結果より、現況OD表を作成。将来も同じと設定。</p> <p>2) 交通量配分 PTデータの将来自動車交通量による道路区間別交通量をベースに、最短経路配分で行う。</p> <p>通院車交通</p> <p>1) 自動車OD表 病院の年報、補足調査で入手・ヒアリングした病院資料より、通院車ODを作成。将来も同じと設定。</p> <p>2) 交通量配分 緊急車交通と同様</p>
検討結果	将来整備予定路線のうち、緊急車交通において重要となる路線、及び通院車交通において重要となる路線を選定した。
事業展開 等	

分析結果の例

(1) 救急車交通量の検討結果

緊急車両の走行が見込まれる路線の抽出

